

孫子老

第 49 号

平成27年 3月18日発行

社会福祉法人よこた福祉会

島根県仁多郡奥出雲町稲原57-1
TEL (0854) 52-2567(代)
FAX (0854) 52-2568(代)
E-mail : yokohu-1@jeans.ocn.ne.jp
http://yokota.or.jp

介護老人福祉施設むらくも苑
短期入所生活介護事業所
デイサービスセンターほのぼの
デイサービスセンターにここ

ヘルパーステーションたんぽぽ
訪問看護ステーションまごころ
居宅介護支援事業所

利用者アンケート結果について

居宅介護支援事業所 管理者 小早川 定 雄

よこた福祉会では、サービスの質の向上を目的に隔年で介護サービス利用者満足度アンケートを実施しております。

今回は、介護保険制度改正を控えていることから居宅サービス事業では、今後の事業運営に繋げる為、営業日や提供時間、加えて介護保険外のサービスについて利用者・ご家族の皆様から意見や要望を伺う内容としました。また、「むらくも苑」においては、例年の通り職員の言動や対応及び施設環境に対する評価、満足度を確認する機会としました。

居宅サービスの集計結果からは、現在利用している介護サービスの種類、頻度では安定した形でなされているとの回答、記述が寄せられました。が、デイサービスへの希望として営業曜日の追加、提供時間の延長、また、ショートステイの休日送迎が上がるなど在宅生活を継続していく上では、もう少しサービスに幅が求められている現実を認識したところです。

今回のようにサービスの量について意見を頂くのは初めてですが、こうした取り組み

を実施することで、何が求められているのか、何が必要なのかを見つけ出し、将来の地域福祉の向上へ繋げて行きたいと考えます。特に一人暮らしの方や高齢者世帯では、介護サービスだけでなく生活上身近な事への支援の必要性が高く、認知症施策と共に大きな課題であると言えます。

施設アンケートの回答は、殆どがご家族様からですが、面会時など職員と接し、その態度、姿勢について「良い」「好感が持てる」といった評価を頂きました。こうした声に慢心することなく、常に利用者本位の気持ちで一人ひとりの施設生活を支えて参りたいと考えます。

今回お寄せ頂いたご意見、ご要望を全職員で共有し、国が示す地域包括ケアシステムの構築に向け、行政機関、他関連事業所と連携を密にし、法人としての役割や責任を果たすべく努力を重ねてまいります。今後ともご利用者、ご家族様は勿論のこと、地域の皆様方からも、よこた福祉会に対し忌憚のない意見を頂戴すれば幸いです。

ありがとうございました。

むらくも苑

新年会

白寿・米寿のお祝い



1月15日、むらくも苑では白寿、米寿のお祝いに合わせて新年会がありました。今年には男性1名が白寿を、女性3名が米寿をめでたく迎えられご家族様にも参加していただきにぎやかに開催しました。

主役の4名の方それぞれがスーツや着物に身を包み、その上から羽織った赤や白の「ちゃんちゃんこ」がとてもお似合いです。綺麗に化粧をされたお顔の表情も良くご家族様と一緒に記念写真を撮りました。



式では施設長のお祝いの挨拶の後、奥出雲町や施設からの記念品をお渡ししました。

した。祝杯にてそれぞれお神酒に口をつけられた後には職員による余興が披露されました。今年の余興は「祝い船」「学園天国」「川の流れるように」の3曲を合唱で披露させていただきました。会場全体で「青い山脈」を一緒に歌いました。普段では見られない職員の一面を見ていただけたのではないのでしょうか。式は最後に施設長の音頭でさらなる長寿を祈願して三三七拍子にて締めくくられました。約1時間間の式ではありましたが今年白寿、米寿を迎えられた方は皆さんお元気な方ばかりで最後まで式に参加されました。

白寿米寿を迎えられた方を始め利用者の方々には今後も元気で心豊かに施設での生活を送って頂きますようお願いいたします。またその為に職員一同、誠心誠意、心のこもった介護を実践して行きたいと思っております。おめでとございました。

徒然草

憲法に定める国民の三大義務は「教育」「納税」そして「勤労」であり、「兵役」の義務は明治憲法にあります。

そして、国民の義務としては平成十四年にできた法律に「健康増進法」があります。その第二上に「国民の義務としての健康の増進」が定められています。この基本方針が「健康日本二十一」であり、初期目標はメタボリックシンドローム対策や喫煙制限であり、国民によく浸透しています。現在の目標は「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」とされています。この健康寿命の延伸のため全身の健康はもろろんのこと、歯と口腔に疾患がなく、咀嚼、嚥下などの機能が十分發揮できることが必要と思われまます。現在、虫歯、歯周病などの疾患がまだ多く、特に歯の痛みはどうにも我慢できない痛みとして「歯がはしる」という表現が北海道ではもちいられています。「頭がはしる」「腹がはしる」とは言わない、歯だけの独特の痛みの表し方です。又咀嚼は餅つきによく似ていると言われています。まず道具をよく洗って（口腔の清潔）、それから次のようになります。

- モ子米：食物
 - 臼：口腔、口唇
 - 杵：歯
 - つき手：咀嚼筋
 - かえし手：舌
 - 打ち水：唾液
 - お餅：食塊
- 何一つかけても、美味しい餅（食塊）はできません。

私たちが美味しく楽しく満たされた気持ちで食事ができるように、又あの歯の痛みを一生知らずに過ごせるように口と歯の健康に気を付けていきたいものです。

介護教室を 開催しました

今年度、奥出雲町より委託を受け家族介護教室を開催しました。デイサービスセンターにここを会場とし、口ごろのデイサービスでの過ごし方や雰囲気を感じてもらいました。ご家族10名の参加があり、夫・妻・子供・嫁それぞれの立場での日ごろの様子を伺いました。「同じ話ばかり繰り返すが話を合わせ付き合っている」「息子夫婦には負担をかけないよう頑張っている」「デイサービスではしっかりしているように見えますが家では違った表情をみせます」等家族の抱える思いを聞き、共感する時間となりました。参加者家族同志の意見を聞き合い参考になったとの感想でした。



介護予防教室で行なっている「タオルを使った体操」でストレッチを行い、「スカットボール」のゲームで交流を図りました。身体を動かし普段とは違った時間を持ち、ひとときの気分転換に感じたことと感謝されました。

今後も、家族の交流や意見交換のできる場を設けて欲しいとの要望がありました。家族にとっては、自分たちの介護だけでは限界もあり、地域の見守り、協力は必要なもので今後も家族を支える支援体制がとても重要との意見でした。

教室に参加いただいた皆さまは、初め緊張気味でしたが、お互いの話を聞き一緒に身体を動かすことで気持ちがお通じ合い、とてもやわらかい表情でお帰りになりました。

横田ライオンズクラブより 車イスのご寄贈をいただきました。



この度、横田ライオンズクラブ様より、車椅子2台をご寄贈頂きました。

今回ご寄贈頂きました車椅子は、むらくも死、デイサービスセンターにここで大切に使用させていただきます。

横田ライオンズクラブの皆様、誠にありがとうございました。

職員紹介

ねむの会

よこた福祉会では奥出雲町の委託を受け、通所型介護予防事業「ねむの会」を運営しています。そのねむの会の職員を紹介します。

運動器担当：小林



ねむの会で運動器を担当している理学療法士の小林です。月に1回、自宅のできる体操の話や相談を通して利用者の皆さんが動きやすい身体づくりができるようお手伝いしています。よろしくお願いします。

介護相談担当：安部



頭と身体の予防体操を健康意識の高い皆様と、私も仲間に入れていただき、ワッハッハアと笑顔でしています。

元気で楽しみのある生活が続けられるよう今後ともお手伝いをしていきたいと思ひます。

看護相談担当：久井



ねむの会で健康チェック・物忘れなどの相談を担当しています。

気軽に声をかけていただき、体操等を通して皆様の健康維持のお手伝いが少しでも出来ればと思ひます。よろしくお願いいたします。

口腔器担当：松崎



日頃の口腔に関するお話を聞き、助言しています。利用者の皆さんと口腔体操や唾液腺マッサージ、舌の体操、発声発音練習、歌を歌ったりしています。

自宅でも、ムセや誤嚥があるという意識を持ち実践していただけるよう、声かけていきたいと思ひます。

栄養担当：磯田



ねむの会では、2ヶ月に1回調理実習と栄養指導を担当しています。

健康のためには、適度な運動と栄養、そしてバランスよく食べることが第一。そのためにわずかでも皆様の食生活をサポートできればよいと思ひています。

まごころ 孫子老まつり

『孫・子・老のふれあい』

今年度は、「つなごう人の輪」をテーマとし、ご利用者をはじめご家族や地域の皆様方に喜んでいただけるよう、準備を進めてまいりました。天候にも恵まれ、大勢の皆様にご来場いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

まつりのポスターは、県立横田高校美術部、写真部に依頼をしました。日頃から当法人の施設前を通学されている生徒さんは「おはようございます」「こんにちは」「帰りました」と声をかけてくださり利用者、職員も温かい気持ちと元気をいただきながら過ごしております。作品制作のため施設訪問も



あり更にふれあいを感じ、五感を使ったとても素敵な作品に仕上がりました。また、日頃から習字ボランティアでお世

話になつております



す 稲田 一郎様
には、余興舞台の看板、演目を書いていただきました。迫力ある書の中には、温もりがあり、ご来場の皆様はうっとりときられていま

た。
施設内外と様々な賑わいの中、屋台では、炊き込み・舞茸ご飯・焼き饅頭・たこ焼き・手打ちそば・焼きそば・焼き鳥・ミスタードーナツなど沢山の品揃えではありましたが、お昼過ぎには、完売いたしました。

余興では、奥出雲町イメージキャラクターのすさのおくんといなたひめちゃんに来苑していただき、会場の皆様とじゃんけんゲームに参加してまつりを盛り上げてくださいました。

横田幼稚園の踊り・全国大会に出場された民謡とどじょうすくい・三沢要害山の武者行列・華やかなフラダンスで、会場の皆様と

共に踊り心も華やかになりました。沢山のボランティアの方にもお力添えいただきました。職員余興では、ユーモラスな水戸黄門劇で終始笑いが絶えませんでした。この衣装は、職員家族の手作りで改めて家族にも支えら

れていることに感謝しました。反響も大きく記念撮影をされカレンダー作成する方もおられて地域の皆様とも更に親睦交流が深まり、喜んで頂きました。

今後まつりの由来である「孫・子・老」の世代が集い、ふれあい交流ができる施設となるよう、地域と共に歩み社会福祉法人としての役目を果し、職員一同一層の努力を重ねてまいりますので、今後ともご支援をいただきますようお願い申し上げます。

お願い シルバー カーを 譲ってください!



ご自宅に使用していないシルバーカーがあれば、ぜひ譲ってください。ご連絡お待ちしております。

連絡先 TEL52-2567
むらくも苑 糸原まで

車両整備について



昨年12月5日に島根県より補助金を受け、訪問介護ステーションまごころに軽車両を配備しました。厚く御礼申し上げます。また、1月からは新しいスタップをむかえ、気持ちも新たに訪問活動を行っています。今年もよろしくお願いたします。

編集後記

皆さんは小さい頃、「おしくらまんじゅう」をして遊んでいましたか？

今、子供達が大きな声を出して外で遊んでいるところをあまり見かけなくなりました。

子供達の遊ぶ声がどこでも聞こえる時代がまた来て欲しいものです。

